

折に触れ 四字熟語

NO. 197 『暮色蒼然』 ぼしょく そうぜん

< 意味 > 夕暮れどきの、徐々にあたりが薄暗くなっていく様子。  
「蒼然暮色（そうぜんぼしょく）」ともいう。

< 出典 > 「柳宋元<sup>りゅうそうげん</sup>」の文

表 現 : 暮色蒼然たる景色

用 例 : 隅田川も、当時は白魚がすむほどの、澄んだ水で、ことに、暮色蒼然と迫るころの眺めは、  
得も言われぬ。<舟橋聖一・花の生涯>

語 釈 : 「暮色」は夕暮れどきの薄暗い景色の意。「蒼然」は日暮れどきの薄暗さの意。

一 言 : 次第に秋めいてきました。とりわけ夕暮れ時にそれを感じるのは私だけでしょうか。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」